

大杉だより

No. 8 11月7日号

山口市立平川中学校
山口市黒川1231-1
tel. 924-7700
fax. 924-7706
mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp
HP : <https://fa.fureai-cloud.jp/hira-j/>

ホームページには行事予定
などのお知らせを載せてい
ますので、ぜひ、ご覧くだ
さい。

「何のために学ぶのか」… “学ぶことの意義” を考える

校長 横沼潤一

「『何のために学ぶのか』あなたは、この問いに何と答えますか。」少し理屈っぽい話になるかもしれませんが、先の見えにくい今だからこそ、子どもたちに聞きたい…。

2学期の始業式で、私は全校生徒に対していくつかのお願いをしました。その一つは、学習や行事を通して“学ぶことの意義”、言い換えると「なぜこの勉強をするのか」、「なぜこの行事を行うのか」ということへの意識を高めてほしいということです。

体育祭のことは以前書きましたが、その後も大きな行事が続いています。

10月19日(木)、本校を会場に「道徳授業セミナー」を開催しました。県内各地から50名を超える参加者(主に他の学校の教員)をお迎えして、各学年1クラス、合計3クラスが道徳の公開授業を行い、その後それぞれの授業を振り返りながら、道徳教育の充実に向けた研究協議を行いました。各学年「生命の尊さ」がテーマの授業でしたが、そのうち「地域道徳」として行った授業では、地域の方々や平川小学校の教職員の方々にも生徒と一緒に話し合い活動を行っていただいたことで、生徒たちの意見の幅が広がり、学びが深まりました。(同じ内容の授業は、各学年全クラスでそれぞれ別の日に実施しました。)

また、10月28日(土)には、文化祭を4年ぶりに午前、午後をわたくして実施しました。日程の関係で、昨年度まで行っていた「地域ブース」の取組は行えませんでした。オープニングやエンディング、合唱コンクール、総合的な学習の時間の発表等を全校生徒が体育館にそろって行う文化祭は、3年生にとっても初めての経験であり、1、2年生にとっては3年生の姿に学ぶ絶好の機会となりました。

文化祭を終えるにあたっての挨拶で、私は生徒たちに、この文化祭に向けて創り上げてきた作品や合唱、発表等を見てとても感動したことや、みんなで協力して頑張ったことへの労(ねぎら)いの言葉に加えて、次の話をしました。

「新たなものを創造する」ということは、これまで私たちの祖先がずっと行ってきた営みであり、これから先も私たちが引き継いでいかななくてはならないことです。そしてその営みは、その多くが仲間とともに、協力・協働して行っていかななくてはなりません。私は、合唱や演奏、発表、作品等をみんなで作り上げていく意義がそこにあると思っています。

「新たなものを創造する」ためには、「今ないものを知る」必要があります。逆を言えば「今あるものを知る」ということにもなります。そして、何より「ものを作り出す、生み出す」方法を知るための経験をしなくてはなりません。学校で文化祭を行う意味が、そこにあるのかもしれません。

道徳の授業も文化祭も、さらに言えば日々の授業や学級活動、生徒会活動等、生徒たちが現在経験していることのすべては、一人ひとりの「学び」につながっています。

「何のために学ぶのか」…この答えは、一つではありませんし、人によって異なると思います。私は、生徒一人ひとりが“学ぶことの意義”を考え、お互いに議論をしながら意識を高め合うことは、一人ひとりの“主体的な学び”につながると考えています。

保護者や地域の皆様、「何のために学ぶのか」…“学ぶことの意義”について、機会があれば生徒たちと一緒に会話をする中で、様々なアドバイスをいただくと幸いです。

「彩 ～いろいろ～」

10月28日（土）に、第34回文化祭を開催しました。本年度はコロナ禍前のように、全校生徒が体育館で観覧し、1日の日程で行いました。

生徒会執行部のオープニング劇で始まり、午前中は合唱コンクールがありました。その後、各学年フロアの展示を見学したり、吹奏楽部の演奏会を聞いたりしました。午後の体育館では各学年の総合的な学習の発表を聞きました。最後は生徒会執行部の劇で締めくくり、文化祭が終了しました。

各学級や学年、全校生徒が一致団結して素晴らしい文化祭を創り上げました。平川中学校のパワーをあらためて感じる事ができた1日でした。



今回の文化祭へ、多くの保護者の方や地域の方がお越しくださいました。ありがとうございました。生徒たちが生き生きと活動する姿はいかがでしたか。今後も学校の活動に対しまして、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

